

旭川龍谷高等学校 令和5年度 授業シラバス

教科名	科目名	単位数	学年	必/選	コース/フィールド
芸術	書道 I	2	1	選	全コース
科目の目標	中学校の国語科書写の中で、書写能力の基礎・基本となる「文字を正しく整えて、読みやすく速く書くこと」を主としてきた目標を、高等学校の芸術科書道では、その能力を更に高めるとともに、より広く表現の技術を学んでいく。また、さまざまな「書」の美を鑑賞することによって、芸術としての「書」を理解し、日常生活に積極的に取り入れながら、生涯に渡り「書」に親しむ心を養っていく。				
教科書	書 I (教育図書)	副教材等			

1. 学習の到達目標

- ・書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。([知識及び技能] の習得)
- ・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。([思考力、判断力、表現力等] の育成)
- ・主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。([学びに向かう力、人間性等] の涵養)

2. 学習計画及び評価の観点

※評価の観点：X(知識・技能)，Y(思考・判断・表現)，Z(主体的に学習に取り組む態度)

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
「書写」「書道」の差異	1	4	書写と書道の違い	○		
書体の変遷	1	4	5体の違いを理解する	○		
楷書を臨書する(九成宮醜泉銘・孔子廟堂碑・雁塔聖教序など)	8	4.5	基本点画の確認と書風の違いを理解する	○	○	○
様々な行書を臨書する(蘭亭序・風信帖・祭姪稿など)	8	5.6	基本的な行書の書法とリズムを学ぶ	○	○	○
様々な篆・隸・草書を臨書する(泰山刻石・曹全碑・書譜など)	8	6.7	基本的な篆隸草書の書法とリズムを学ぶ	○	○	○
様々な仮名を臨書する(蓬萊切など)	8	8.9	基本点画の確認と書風の違いを理解する	○	○	○
仮名を利用した創作をする	2	9	筆法と書風を意識する	○	○	○
楷書を利用した創作をする	2	9	楷書筆法と書風の違いを意識した創作をする	○	○	○

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
行書を利用した創作をする	2	9	行書筆法と書風の違いを意識した創作をする	○	○	○
隷書を利用した創作をする	2	10	隷書筆法と書風の違いを意識した創作をする	○	○	○
感動や思いを表現した創作をする	8	10. 11	自分の感性を意識し取り込んだ創作をする	○	○	○
日常生活に関わる書を学ぶ	8	12. 1	葉書・手紙・扇面などの創作を通し、常日頃から関わるものに書を取り組む意識を育む	○	○	○
印を創る	8	1.2	筆とはことなる道具での作品を作る	○	○	○
近代詩文書や日常の書の作品を鑑賞する	4	3	書の名筆や一年間自らが創った作品を鑑賞し、書美を理解する		○	○